

武市健人 たけいち 哲學者、文學博士。明治二十四年五月一日高知縣生  
れ、昭和六十二年二月十六日歿（九〇一六六）。昭和三年東北帝國大學  
哲學科卒。同大附屬醫學專門學校教授、神戸大學教授歴任。

譯著書「ヘーゲル哲學概論」（高橋里美共譯、昭和七年一月十五日岩  
波書店）、ヘーゲル著「哲學史・上卷」（譯、昭和九年九月二十日岩  
波書店「ヘーゲル全集」）、「歴史存在論の研究」（昭和十八年九月  
十日櫻井書店）、「ニヒリズムと唯物史觀」（昭和二十二年十月十日  
福村書店）、「ヘーゲル論理學の體系―辯證法の基本構造」（昭和二十  
五年五月一日岩波書店）、ヘーゲル著「哲學入門」（譯、昭和二十  
七年八月五日岩波書店「岩波文庫」）、同改譯「歴史哲學」全二冊（譯、  
上卷・昭和二十九年六月十日、下卷・十月二十日岩波書店「ヘーゲル  
全集」）。のち、全三冊・四十六年二月十六日―五月十七日「岩波文  
庫」）、同改譯「大論理學」全四冊（訳、昭和二十一年十一月十日―三  
十二年二月十七日岩波書店「ヘーゲル全集」）、「仏教とマルキシズ  
ム」（合著・稲葉襄編、昭和四十二年八月十日創元社）、ヘーゲル著  
「哲學史序論―哲學と哲學史」（訳、昭和四十二年五月十六日岩波書  
店「岩波文庫」）等。